

第5次結城市総合計画実施計画策定及び行政評価シート

担当部署	部局名	教育委員会
	課名	学校教育課
	係名	庶務係
	記入者	増山智一
	電話(内線)	624

1. 事業の概要

(1) 事業種別 [新規又は継続]	新規	(2) 事務事業 の名称	計画 予算	通学時安全対策指導事業 通学時安全対策指導事業経費	(3) 事業の 優先度	A
(4) 総合計画での位置づけ				(6) 事業主体	市	
① 事業の区分	一般事業			(7) 予算・ 財源等 の種別	事業の性質	一般事業費(ソフト事業)
② 施策コード	41199	(総合計画掲載ページ 103 ページ)			会計区分	一般会計
基本目標(政策)	4 未来を担う子どもと地域を支える市民を育むまちづくり(教育・文化)				財源区分	市単独
基本施策	1 生きる力を育む教育環境づくり(学校教育)				予算科目	款 10 項 3 目 1
施策	教育内容の充実				予算書上の 事業名称	通学時安全対策指導事業経費 (予算書 ページに掲載)
施策内容	その他				(8) 事務分類	自治事務
(5) 事業期間	開始	平成 26 年 4 月から	終了	年 月まで (年)	根拠法令	

2. 事業の目的及び内容

(1) 対象者(だれを・何を)	中学生(平成26年度:1学年から3学年) 中学生(平成27年度以降:中学1年生)	(3) 事業内容(具体的に何をを行うのか、そのために何をを行うのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校在校生のほとんどが自転車通学している。 ・通学時に交通事故等の被害にあった時には、頭部の保護に有効であるとされるヘルメットを着用させ、通学時安全指導の徹底を図る。徒歩通学においても同様である。 ・ヘルメット着用について徹底を図るために、ヘルメットの現物支給を行う。
(2) めざす姿(どのような状態にしたいのか・意図)	通学時における交通安全指導の充実による、交通事故の未然防止及び被害拡大の防止対策を図りたい。	<p>■ 事業の全体計画(※計画等がある場合、H24年度末時点で記入)</p> <p>・総事業費 千円 ・進捗率 %</p>	
(4) 事業開始のきっかけや市民・議会の要望や意見、他市の状況など(※1-(8)事務分類 法定受託の場合は、記入必要なし)			
・近隣市町村においては、以前より通学時にはヘルメットを着用していること。交通安全対策を図るうえで、ヘルメットの着用が有効手段であるとされていたこと。			

3. 事業コスト及び改善措置

行政評価	実績内容の評価	検討・改善	検討・改善内容を反映	
実施計画				
● 予算内訳	実績・決算額(千円)	予算額(千円)	計画額・見込額(千円)	
	24 年度	25 年度	26 年度 27 年度 28 年度	
事業内容				
(1) 事務事業費の コスト	賃金			
	報償費			
	需用費:消耗品費	0	0	3,000 1,000 1,000
	役務費			
	使用料及び賃借料			
	備品購入費			
	負担金補助及び交付金			
	合計			3,000 1,000 1,000
財源	国庫支出金(千円)			
	県支出金(千円)			
	地方債(千円)			
	その他特定財源(千円)			
	一般財源(千円)	0	0	3,000 1,000 1,000
	合計(千円)			3,000 1,000 1,000
補助・起債制度名				

(2) 平成25年度以降の改善・改革点(※ 記入の必要なし)

4. 指標の検証（活動指標・成果指標）

指標の名称		単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
(1) 活動指標（実施した事業の内容）								
実施内容	ヘルメット支給対象中学生	目標値	人			1,500	500	500
		実績(見込)値						
		目標値	回					
		実績(見込)値						
(2) 成果指標（事業実施による施策指標の達成度）								
施策の指標	ヘルメット支給中学生	目標値	人			1,500	500	500
		実績(見込)値						
		達成率		0.0 %	0.0 %			
		目標値	人					
		実績(見込)値						
		達成率		%	%			

5. 事業評価

(1) 平成24年度の行政評価結果をうけて、平成24年度に取り組んだ改革改善点について記載してください。

(2) 項目別評価

評価項目	評価の指標	客観的評価点及び評価理由
1. 目的妥当性	①事業の必要性が高いことを確認しましたか？	5 市民ニーズを把握し、十分に高いことを確認している
	②行政が実施すべき事業ですか？	5 行政以外には実施できない事業である
	③受益者が特定の個人や団体に偏りませんか？	5 市民のみならず、多くの人に便益が提供される
15	A	補足
2. 効率性	④事業の手段（やり方）は適切であると確認しましたか？	5 代替案を検討し、この事業(方法)がもっとも適切である
	⑤コスト効率、人員効率は高まりますか？	3 どちらとも言えない
8	A	補足
3. 有効性	⑥成果指標を達成することで、事業の成果をあげることができますか？(指標達成度)	5 事業の成果を十分にあげることができる
	⑦事業進捗にあたり、想定されるリスク、その対応方法はありますか？(進捗度)	5 想定されるリスクはない
	⑧事業のめざす姿は基本施策の目標達成に貢献できますか？(貢献度)	5 基本施策への効果が高く、基本施策全体をより効率化できる
15	A	補足
4. 総合評価	事業全体について評価し、問題点、課題等を指摘してください。 中学生の通学時のヘルメット着用については、交通安全対策として有効ではあるが、これまでの経緯からヘルメット着用等通学指導の徹底を図るためヘルメットを現物支給することとしたが、ヘルメット購入費用については、今後は、保護者の費用負担についても検討する必要がある。	
38 / 40	[5×8項目]	
5. 対応策・提言等	この事業をどのように改善・改革をしていきますか？	
	平成25年度 [事業実施段階における改善点]	
	平成26～28年度 [今後の事業見込による改善点や改革点]	

6. 事業の方向性判断

評価主体	25年度以降の事業の方向性	評価理由・根拠
(1) 記入者評価 記入者が評価を行う	予定どおり要求	注) 記入者は「5. 事業評価」を記載するため、この欄は未記入で結構です。
(2) 一次評価 担当課長が評価を行う	予定どおり要求	保護者の費用負担も検討する必要があるが、中学生の通学時の安全確保のため、通学用ヘルメットを支給し、安全指導の徹底を図る必要がある。
(3) 最終評価 企画調整会議において評価を行う		上記評価のとおり